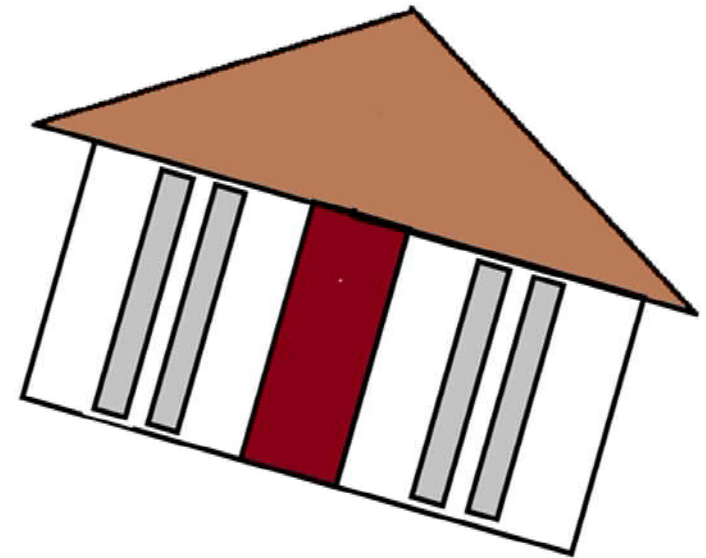


生活芸術学科で学ぼう！



日本女子大学
通信教育課程
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
CORRESPONDENCE COURSE



生活芸術学科は



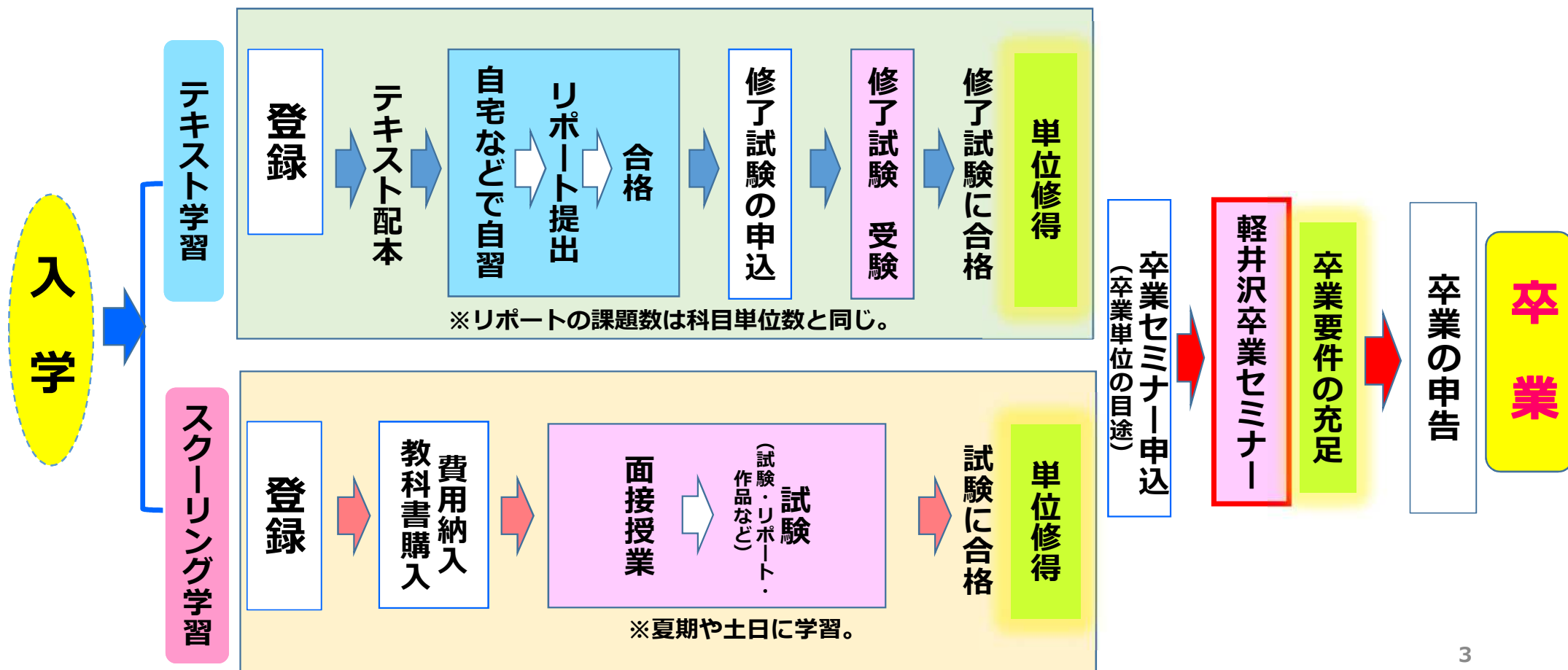
| | | | | |
|-------|-----|----|-----|----|
| ◆被服学科 | 学科長 | 横井 | 孝志 | 教授 |
| ◆住居学科 | 学科長 | 薬袋 | 奈美子 | 教授 |

- 科目は、衣生活と住生活がミックス。
- どちらの必修科目も履修する。
- 専門科目の単位は70単位※（必修24、選択46）

※ 1年次入学の場合。

通信教育の学習の流れ

- テキスト学習とスクーリング学習の二刀流で学ぶ。
- 学習を始めるためには登録が必要。



科目の構成

基礎科目

1) 外国語 2) 情報処理 3) 身体運動

教養科目

A<地球市民をめざして> B<よき生をもとめて>
C<知と感性を磨く>

学部共通科目

・家政学概論 ・生活と児童 ・生活と食物
・生活と被服 ・生活と住居 ・生活と経済
・生活と人間 ・商品・サービス等の品質と安全性

学科科目

- ◆ 児童学科の専門科目
- ◆ 食物学科の専門科目
- ◆ 生活芸術学科の専門科目

資格・教職免許などのための科目

※教職免状取得の方、科目等履修生の方など入学コースによっても異なるので、
詳細は「履修の手引」を参照。

卒業に必要な単位数



1. 必要単位数（1年次入学の場合）

| 授業科目 区分 | 基礎科目（12） | | | 教養科目 A～C系列各2単 位以上（24） | 学部 共通 科目 （6） | 学科科目 （70） | | 軽井沢 卒業 セミナー （2） | 自由 選択 科目 （10） | 合計 |
|------------|----------|----------|----------|-----------------------------|-----------------------|--------------|----|--------------------------|------------------------|-----|
| | 外国語 | 情報処 理 | 身体運 動 | | | 必修 | 選択 | | | |
| 必要単位数 | 8 | 2 | 2 | 24 | 6 | 24 | 46 | 2 | 10 | 124 |

2. スクーリングで取るべき単位数

| 入学区分 | スクーリング単位数 |
|---------|-----------|
| 1年次入学 | 30単位以上 |
| 2年次編入学 | 23単位以上 |
| 3年次編入学 | 15単位以上 |
| 3年次学士入学 | 15単位以上 |

必要な単位数のうち、スクーリングで取らなければならない単位

編入学や学士入学では、取得すべき単位数が少なくなる。

※入学年次、認定科目数により異なる。

教員免許など資格を取得するには、卒業単位に加えてさらに単位数が必要。

参考 編入学者 卒業に必要な単位数

認定後の卒業に必要な単位数

| 入学区分 | 対象者 | 授業科目区分 | 基礎科目 (12) | | | 教養科目 A~C系列各 2単位以上 (24) | 学部 共通 科目 (6) | 学科科目 (70) | | 軽井沢 卒業 セミナー (2) | 自由 選択 科目 (10) | 合計 |
|-------------|--------------|-----------|-----------|------------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|--------------|----|--------------------------|------------------------|-----------|
| | | | 外国語 | 処 理 情 報 | 運 身 動 体 | | | 必修 | 選択 | | | |
| 1年次入学 | 高卒 | 必要 単位数 | 8 | 2 | 2 | 24 | 6 | 24 | 46 | 2 | 10 | 124 |
| 2年次編 入学 | 大学中退 | | 4 *1 | 2 *2 | 0 | 0~12*3 | 4*4 | 60~70 *5 | | 2 | 0 | 70~ 94 |
| 3年次編 入学 | 短大卒・ 大学中退 | | 4 *1 | 2 *2 | 0 | 0 | 4*4 | 52*5 | | 2 | 0 | 62~ 64 |
| 3年次学士 入学 | 大学卒 | | 【免除】*6 | | | | 4*4 | 46*5 | | 2 | 0 | 52 |

- * 1 : 英語 I A、Bの4単位は認定する。残りの英語 II 2単位と外国語 2単位を修得すること。
- * 2 : 情報処理 2単位が認定された場合は、修得の必要はない。認定されなかった場合は2単位を修得すること。
- * 3 : 認定された単位数により、不足分を修得すること。
- * 4 : 2単位を認定する。残りの4単位を修得すること。
- * 5 : 入学区分と科目により0~24単位を認定。残りの単位を修得すること。
- * 6 : 【免除】科目を取得しても、卒業単位にならないので注意すること。

履修登録のポイント

- **早めに履修**→基礎科目（外国語・情報処理・身体運動）

2年次編入学・3年次編入学で必要な方も忘れずに。

- **忘れがちな科目**→教養科目（A系列・B系列・C系列）

必要なのに見落としていないか？

2年次編入学・3年次編入学の方で、単位認定されている科目は不要。
学士入学の方は免除。

※【免除】科目を取得しても卒業単位にはカウントされない。

- **卒業までに必ず履修**→学部共通科目

所属学科以外の分野を学ぶ。

- **学ぶ順番**→**学科科目は必修科目を優先的に、**
選択科目は計画的に。

基礎
→ 応用

1年次、2年次開講科目から**年次順に履修する。**

- **学べる範囲で登録** → **登録の上限20科目。**

年度途中で
追加できる。

配本されると、配本単位が減ります。確実に履修することを決めて登録しましょう。

在学年次と衣生活の科目

衣素材系

衣造形系

服飾・文化系

流通・消費系

一
年
次

・衣材料学

・色彩環境論

・生活デザイン論
・生活文化論

一
年
次

・染色加工学
・衣整理学
・衣材料学演習★
・衣整理学演習★

・衣造形学・衣環境学
・衣造形実習Ⅰ
・衣造形実習Ⅱ
・衣造形実習Ⅲ
・衣造形実習Ⅳ
・アパレルデザイン論
・ユニバーサルデザイン論

・日本服飾文化史★
・西洋服飾文化史★
・服飾美学
・生活史
・造形芸術論
・服飾・文化系特別講義

・マーケティング論
・消費生活論
・消費者行動・調査法
・環境とエネルギー
・流通・消費系特別講義

三
年
次

・テキスタイル
試験法演習

・色彩学
・色彩学演習



・アパレルのための品質管理
・アパレル品質管理ケーススタディAB

※赤字は必修科目 ★は選択必修科目 同じ色のどちらかを選択する。青字はスクーリング(隔年開講科目も表示)

在学年次と住生活の科目

住生活系

計画系

設計・デザイン系

構造・生産系

一年次



二年次



三年次

- ・ 住生活学
- ・ 住居史
- ・ 福祉環境論
- ・ 住居マネジメント
- ・ 住居学特講※
(※関連科目)

- ・ インテリア計画論
- ・ 建築計画論
- ・ 住居環境学
- ・ 建築法規

- ・ 住居製図
- ・ 住居設計 I

- ・ 力と形
- ・ 建築・インテリア材料



- ・ 住居安全情報論
- ・ 建築保存再生論
- ・ 住宅問題・政策

- ・ 住居設備学
- ・ まちづくり論

- ・ コンピュータデザイン
- ・ 住居設計 II
- ・ インテリアデザイン
演習

- ・ 構造力学
- ・ 住居構造
- ・ 建築施工

※赤字は必修科目 青字はスクーリング (隔年開講科目も表示)

自宅学習（テキスト）

衣生活科目の例



住生活科目の例



- 「学習の手引」がある科目もある

プレ配本

登録前に必修科目の一部のテキストが配本される。

（※入学区分・学科によって異なり、学士入学の方はプレ配本はない。）

テキスト学習のポイント

●テキストを読む



- ① しっかりテキストを読み込むことは基本。
- ② 不明な専門用語などは、辞書や参考書などで調べる。
- ③ 单元ごとに、キーワードやポイントを書き出す。
- ④ 関係性を図式化やイラスト化して、理解を深める。

●疑問や興味のある点を追究する

- ① 参考書・専門書などを活用する。
- ② 学習した内容を生活の中に探してみる。



レポート課題に取り組む

レポートを書くポイント

1. 書き方の基本を確認

◆レポート課題集

「レポートの書き方」をしっかりと読む。

2. 何を書くのかを確認

◆課題をよく読む。

何を求めているかを書き出して整理する。

◆「ねらい」「アドバイス」「参考書」をじっくり読む。

課題

ねらい

アドバイス

参考書

住居学概論 (レポート番号 47) 2単位・2課題

・様式Bまたは様式E (手書きの場合は様式B)
・1課題 2,000字程度(図面、地図は別添とする)

課題

1. ①ライフサイクルと住居形式及び②生活行動と住居環境について、一般論を概観しなさい。また、あなたが小学生の頃に生んでいた住居、またはお父さんが小学生の頃の住居(複数ある場合はそのうちの1つ)の平面図を1/100程度の縮尺で描き、上記の①②のそれぞれの観点から、考察しなさい。
注) 図面は方眼紙を使用すると便利である。一畳を、1cm×2cm程度で表示しても構わない。
2. あなたの生きている地域(中学校区指定)にある住居施設を、1/10000程度の縮尺上に図示し、日常生活を代象におくる上で、地域施設の配置や完備度について、考察しなさい。さらに、少子高齢社会の現代において、あなたの地域に必要なと思われる施設について論じなさい。
注) 学区の大きさによって、縮尺を変更しても構わない。

ねらい

【1について】
自ら暮らした住居を通して、個人および特定の生活環境ごとに定められる住居施設や、生活行動からみた生活空間のあり方について学ぶ。
【2について】
自ら生きている地域を題材に、地域の実際の様子に基づき、日常生活を営む上で大切な住居施設の意義を学ぶ。

アドバイス

テキストをよく読み、また、自ら参考となる区画を探し、熟読する。
【1について】
個人および家族の生活行動についてよく考察すること。あなたの住居について考察では、家族成員の仕事や生活行動の円滑化でいたる所について明らかにしたい点を考察すること。
【2について】
人口や年齢構成など地域の増減について調べたうえで、地域全体として施設が充足しているか、最適な結果となっているかについて、客観的に視察に立って考察すること。

参考書

① 少子高齢時代の都市社会学—家族と住まひの新しい関係 広瀬啓明 ミネルヴァ書房 2002
② 住生活論 津田富美子・定行まり子ほか 光生館 2000
③ 生活学概論(基礎生活学) 小川信子ほか 光生館 1999
④ 生活学辞典 川添登ほか 阪急コミュニケーションズ 1999
⑤ 改訂版 住生活論(生活科学叢書) 松井静子ほか 建学社 2001
⑥ 現代日本住居論(放送大学教材) 鈴木成文 放送大学教育振興会 1994
⑦ 暮らしか生活学を考へる—生活学—(第3号) 小澤紀美子 彰国社 2002
⑧ 住まひの家造り学 外山知博 丸善 1985
⑨ 人間らしい住まひとまちづくり—A house is not a home— 中島明子 筑文社 1999

3. リポートの構成を考える

- ◆序論、本論、結論など文章の構成を考える。
- ◆文章に見出しを付ける。

4. 内容を書いてみる

- ◆テキストや参考書、Web情報の丸写しはしない。
自分の言葉で書く。難しい文言は必要なし。
- ◆読み直し、修正する。

5. 提出する前の確認

- ◆読みやすい文字、文章で書く。
- ◆抜け落ち、誤字脱字、字数、図の量など。

6. レポートの再提出

◆教員のコメントをよく見る

- **レポートは何度もトライして学ぶ** 1回では通らないこともあります。
- **「質問票」の活用** 郵送またはEメールで。
- **「学習相談」の活用** 特任教授による電話または面談（要予約）

早く提出したいために、理解せずに焦って書いたり、文章を埋めたりしても学習になりません。

「学習している」ことを意識しましょう。



「衣生活」のリポートのポイント

- **何が問われているのか？ 課題をしっかりと読む。**

例) 衣整理学

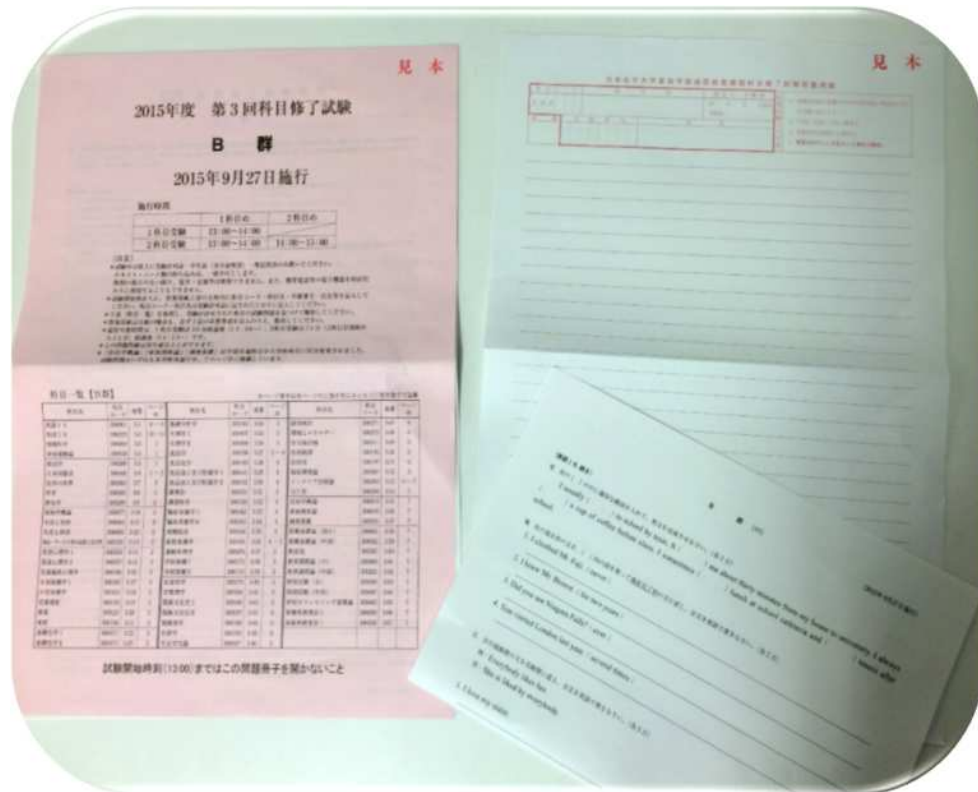
界面活性剤の構造の特徴と水溶液の性質を述べ、洗濯などの洗淨時にどのように働いて汚れを落とすかを説明しなさい。

- **テキストをよく読む。**
用語の意味を理解する。知識が求められている。
- **参考書、文献、Webなどを参考にする。**
使用した資料を記載する。
- **「はじめに～考察・まとめ」まで、章立てし、見出しを付ける。**
- **実物を確認しテキスト以外にも、背景や関連情報を盛り込む。**

科目修了試験

申込用紙は
マークシートを使用。
WEBも可！

レポート合格 → 科目修了試験の受験を申し込む



試験問題と答案用紙の例

● **チャンスは年5回**
5月・7月・9月・11月・1月
(2020年度は4月・6月・9月・11月・1月)

● **試験会場は全国44箇所**
入学時に登録した受験地

● 1回の試験で申し込めるのは
午前2科目 午後2科目
合計4科目まで

A群 (午前) 科目
B群 (午後) 科目

※科目によって受験できる時間帯が決まっている。

科目修了試験を受けるときの注意

●テキスト全体が試験範囲。

- ・テキストをよく読んで理解しておく。
- ・レポート課題以外の範囲からも出題される。

●テキストの持ち込みは不可。

●100点満点中60点が合格ライン。

●不合格であっても、あきらめずに再トライ！！

※試験問題の内容は、毎回異なる。



スクーリング学習(面接授業)

- 大学などで皆さんと一緒に、講義・実験・実習などを学ぶ。
- スクーリング中に、レポートや試験などで単位を修得する。

【夏期スクーリング】

- ・ 8月を中心に開講。
- ・ 主に1科目は、月～土の6日間、午前または午後開講。

登録、別途
受講料などが
必要。



【その他の主なスクーリング】

土曜スクーリング

間隔を空けて学ぶ方がよい科目

集中スクーリング

土日や祝日などを含めた3～4日間連続して行う。
学外施設で開講する場合もある。

通学科目スクーリング
など

通学課程の授業に出席して(半期)、単位を修得する。
(※要受講資格、要別途手続き)

生活芸術学科のスクーリングの様子

- **住居製図** (住宅図面の読み方・描き方の基礎)
↓
- **住居設計 I** (住宅の計画・作図)
- **インテリアデザイン演習**
(インテリア・リフォーム計画)
- **住居マネジメント**



アパレル品質管理ケーススタディ



衣材料学演習

スクーリング中に実施する
レポートや試験で単位を取得。



衣造形実習 I

GPA制度 (Grade Point Average)

評価を点数化して1単位当たりの平均点を表したものの。

| | 合格 | | | | | 不合格 | |
|--------------|----------|-------|-------------|----------|---------|-------------|-------------------------|
| 評点 (点) | 100~90 | 89~80 | 79~70 | 69~60 | 段階なしの合格 | 59以下 | 評価なし |
| | 非常に優れている | 優れている | 到達目標に達成している | 到達目標は最低限 | | 修了試験を受けて不合格 | レポート未提出、レポート不合格、修了試験未受験 |
| 評価 | A+ | A | B | C | P | F | X |
| GPA評点 | 4.0 | 3.0 | 2.0 | 1.0 | 対象外 | 0 | 0 |

$$\text{GPA} = \frac{\text{A+の単位数} \times 4.0 + \text{Aの単位数} \times 3.0 + \text{Bの単位数} \times 2.0 + \text{Cの単位数} \times 1.0}{\text{履修登録単位数 (FおよびXを含む)}}$$

履修登録単位数：その年に登録した科目の単位数。

※P評価、軽井沢セミナー、教職などは対象外。

- 不合格の評価 (F) 及び履修放棄 (X) もGPA算出の対象となるため、FやXが多いと、GPAは低くなる。累積と年間のGPAが付く。
- 登録した科目の履修は取り消せない。● 登録は年度途中でもできる。

【参考】

| 授業科目名 | 単位数 | 評価 | GPA |
|--------------|-----|-------|-------------------|
| 英語 I A | 2 | 入学時認定 | 算出対象外 |
| 衣材料学 | 2 | A | 2×3.0 |
| 日本服飾文化史 | 2 | C | 2×1.0 |
| 生活文化論 | 2 | F | 2×0 |
| アパレルのための品質管理 | 2 | X | 2×0 |
| 調理基礎 | 1 | A+ | 卒業要件外（教職）のため算出対象外 |
| 住生活学 | 2 | A+ | 2×4.0 |
| 住居環境学 | 2 | B | 2×2.0 |
| 住居設計 I | 1 | C | 1×1.0 |
| インテリアデザイン演習 | 2 | F | 2×0 |
| コンピューターデザイン | 2 | X | 2×0 |
| 軽井沢卒業セミナー | 2 | P | 算出対象外 |
| 対象単位数 | 17 | | 1.24 |

小数点以下3位を四捨五入し2位まで求める。

資格



日本女子大学
通信教育課程
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
CORRESPONDENCE COURSE

●卒業で授与される資格

1) 学士（家政学）の学位

2) 教育職員免許状 など

- 中学校教諭一種免許状(家庭)
- 高等学校教諭一種免許状（家庭）
- 学校図書館司書教諭



卒業単位のほか、
教職科目の
単位取得が必要。

●生活芸術学科で学べる資格

住生活関連

○ **木造建築士・二級建築士**（単位取得と卒業で**受験資格が得られる**）

衣生活関連

○ **繊維製品品質管理士（TES）** ⇒ 受験のためのサポート科目。

※ 受験は各自で行う。

木造建築士・二級建築士の受験資格

建築士指定科目40単位の取得と卒業で、受験資格が得られる。

| 系列 | 1年次 | 2年次 | 3年次 |
|----------|---------|--|-------------------------------------|
| 住生活系 | | 住生活学 住居史 ◎ 福祉環境論 ◎ 住居マネジメント ◎ | 住宅問題・政策 ◎ 住居安全情報論 ◎ 建築保存再生論 ◎ |
| 計画系 | | 住居環境学 建築計画論 インテリア計画論 建築法規 | 住居設備学 まちづくり論 |
| 設計・デザイン系 | | 住居製図 住居設計 I | 住居設計 II ※ コンピュータデザイン※ |
| 構造・生産系 | | 力と形 ◎※ 建築・インテリア材料 | 住居構造 構造力学 建築施工 |
| 関連科目 | 住居学概論 ◎ | | |

◎科目（8科目16単位）の中から6科目12単位、他15科目28単位は必修
※3科目は、通学科目スクーリングにより家政学部住居学科「設計製図」「コンピュータデザイン I A」「力と形」履修と読み替えの対象となります。

「履修の手引」
授業科目表の
建マークが目印

木造建築士・二級建築士の受験資格

New!!

建築士指定科目の取得と卒業 + 実務経験で受験資格を得る方法

| 建築士指定科目群 | 科目名 (認定単位) | 単位要件 |
|------------------------|--|----------|
| 建築設計製図 | 住居製図 (1) 住居設計 I (1) 住居設計 II (2) コンピュータデザイン (2) | 3単位以上 |
| 建築計画 建築環境工学 建築設備 | インテリア計画論 (2) 住居史 (2) 建築計画論 (2) 住居環境学 (2) 住生活学 (2) 住居設備学 (2) | 2単位以上 |
| 構造力学 建築一般構造 建築材料 | 力と形(2) 住居構造 (2) 建築・インテリア材料(2) 構造力学(2) | 3単位以上 |
| 建築生産 | 建築施工(2) | 1単位以上 |
| 建築法規 | 建築法規(2) | 1単位以上 |
| その他 | 住居学概論(2) 福祉環境論(2) まちづくり論(2) 住居マネジメント(2) 住居安全情報論(2) 建築保存再生論(2) 住宅問題・政策(2) | 要件適宜 |
| 合計 (実務要件2年の試験時) | | 要件20単位以上 |
| 合計 (実務要件1年の試験時) | | 要件30単位以上 |

繊維製品品質管理士 (TES) 関連科目

Textiles Evaluation Specialist

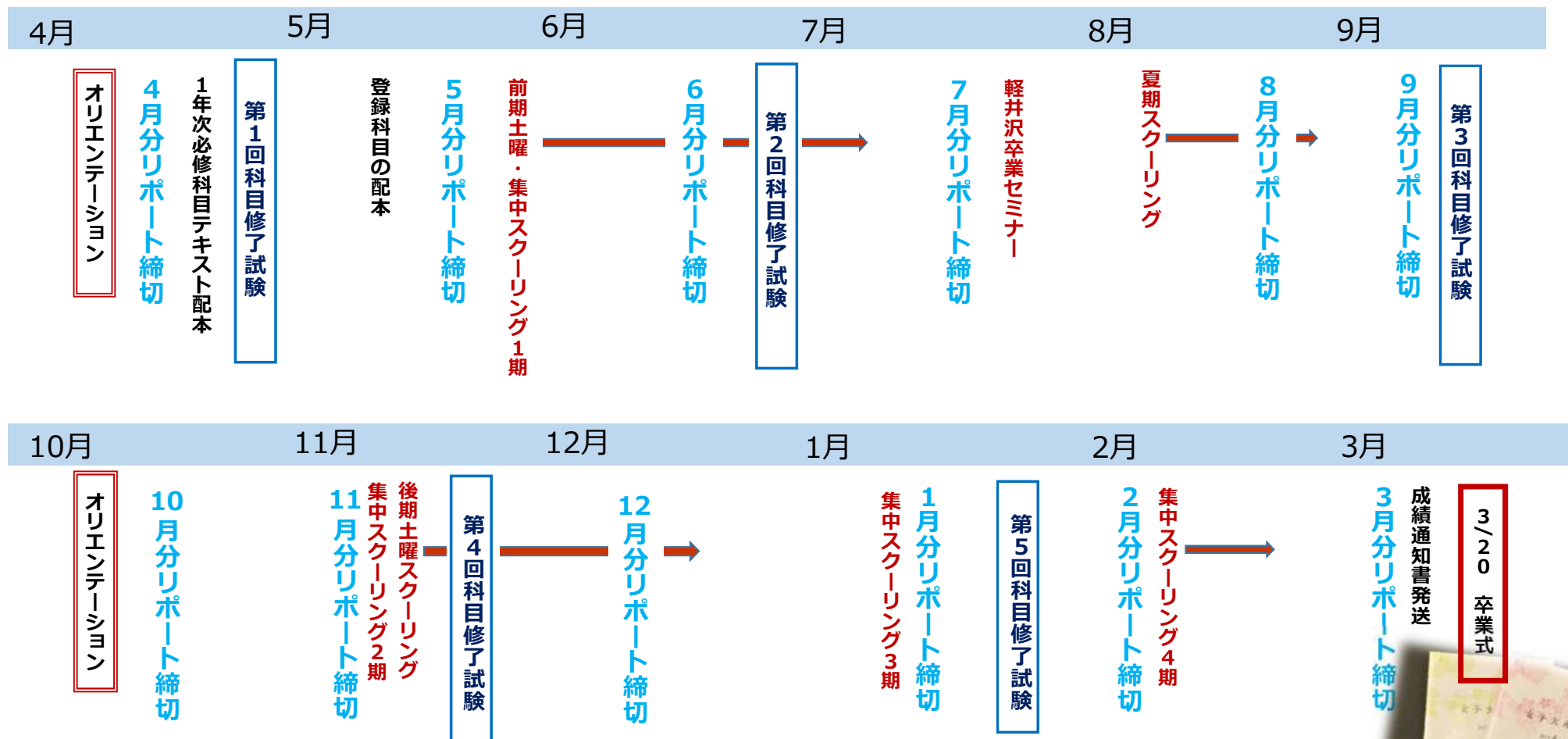
**繊維関連者には必携。衣生活に興味がある方におすすめ。
毎年7月中旬、日本衣料管理協会の試験で取得。在学中に取得可。**

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 |
|--------|---------|--|---|
| 衣素材系 | 衣材料学(T) | 染色加工学(T) 衣整理学(T) | テキスタイル試験法演習 (S) T: テキスト科目 S: スクーリング科目 |
| 衣造形系 | | 衣造形学(T) 衣環境学(T) | |
| 流通・消費系 | | マーケティング論(T) 消費者行動・調査法 (S) 消費生活論(T) | アパレルのための品質管理 (T) アパレル品質管理ケーススタディ (S) |

「履修の手引」
授業科目表
TES マークが目印

繊維関連の資格取得、専門知識修得にサポート科目を活用。

年間スケジュール



※入学時期により履修登録締切は異なります。
 ※2021年度以降の日程には変更があります。

※日程は多少前後することがあります。
 詳細日程は冊子「女子大通信」を参照ください。

